

【ご参考資料】

2015年6月19日

依然折り合いがつかないギリシャ支援交渉

ポイント1 財務相会合でも合意に至らず

2015年6月18日のユーロ圏財務相会合で、6月末で期限が切れるギリシャ金融支援策を巡る交渉が行なわれました。債権者であるユーロ圏側は、新たな支援の条件として、年金制度改革を求めています。ギリシャは拒否しており、合意に至っていません。ギリシャのIMF（国際通貨基金）からの約16億ユーロ（約2,200億円）の債務の返済期限も6月末に迫っており、債務不履行に陥る懸念が次第に強まっています。

ポイント2 高まる市場での不安感

こうした懸念の中、ギリシャでは国債の利回りが6月初め大幅に上昇（価格は下落）し、株価も下落しています。一方、リスク回避を図る資金の流入でドイツの国債利回りは足元でやや低下しています。

通貨ユーロに関しては、ギリシャがユーロ離脱にまで追い込まれば、ユーロにとっての重荷が外れるとの見方もあり、円、米ドルなどに対して下落していません。

ポイント3 22日に緊急首脳会議開催へ

22日にはユーロ圏緊急首脳会議が開催されることとなり、期限が迫る中でのぎりぎりの交渉が続けられます。交渉の当事者から、合意は可能という声も、悲観的な見方も発せられており、極めて不透明な状況です。

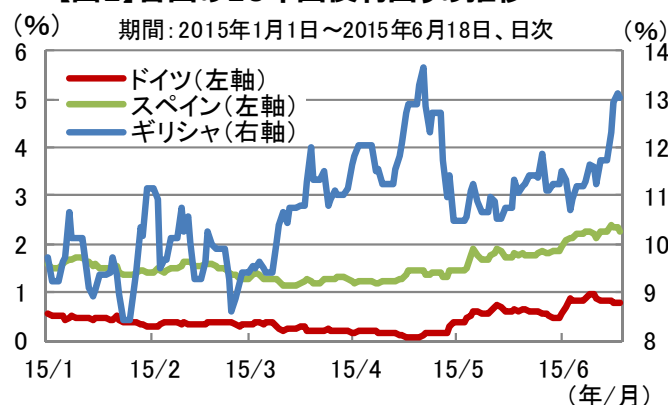
交渉決裂の場合、周辺国や国際金融市場への影響を防ぐために、どのような対策が示されるかも注目されます。

重要イベント

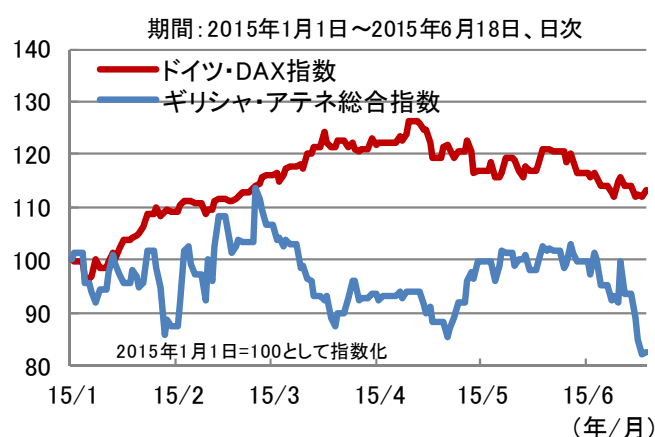
2015年6月22日 ユーロ圏緊急首脳会議
2015年6月25、26日 欧州定例理事会
2015年6月30日 ギリシャ支援策期限
IMF融資返済期限

重要イベントは現地時間で記載しています。

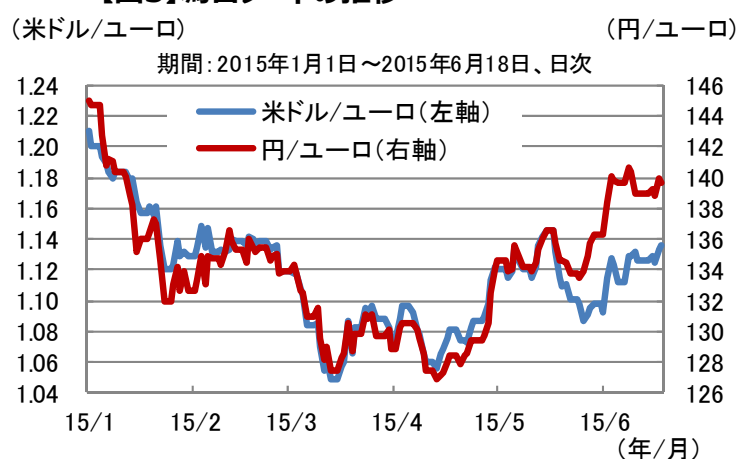
【図1】各国の10年国債利回りの推移



【図2】株式指数の推移



【図3】為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成